

# 都市再生整備計画 第4回変更

ほしかわ てんのうちょう ほ ど が や えきしゅうへん  
星川・天王町・保土ヶ谷駅周辺地区

かながわ よこはま  
神奈川県 横浜市

平成20年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	かながわけん 神奈川県	市町村名	よこほまし 横浜市	地区名	ほしかわ てんのうちょう ほどがやえきしゅうへんちく 星川・天王町・保土ヶ谷駅周辺地区	面積	366 ha
計画期間	平成 16 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 16 年度 ~ 平成 20 年度				

### 目標

鉄道の高架化、ペDESTリアンデッキや歩道の整備によるバリアフリー化が図られることによって、地域分断が解消し、区心部としての拠点性、地域の一体化が図られ、文化やコミュニティ施設の利用促進や新たな業務施設、商業施設等が立地し、活気ある商店街づくりを進めるなど、人であふれるにぎわいのある街を創る。

また、隣接する住宅市街地についても、バリアフリー化の取り組みやすべての人にやさしい街づくりを進めることにより、住商のバランスの取れた魅力ある地域拠点づくりを進める。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

市総合計画や都市マスタープランにより保土ヶ谷区心部に位置づけ、公共施設や商業施設の集積を図ってきたが、鉄道・河川により分断された地域の北側に施設が集中しており、南側からのアクセス性が低く、高齢者や、障害者の利便性が低い。南側では工場移転跡地に業務系施設が立地する一方で、障害者地域活動ホームや保育所の建設が予定されているが、道路幅員が狭く、歩道も未整備であり、オープンスペースも少ないことから、安全な歩行者空間が確保されていない。

隣接する住宅市街地は、東海道線、相鉄線、横浜新道に囲われた丘陵地を形成している。アプローチ道路は高低差が大きい上狭く、歩道が十分に整備されていないため、大変歩きにくい。このような道路に取り付くように戸建て住宅地が形成されている。戦前に耕地整理が行われたが、戦後、急速に人口が増加したため、高齢化が進んでいる。このため、歩きやすい歩行者空間の整備が求められているが、既存の道路は谷を縫うように形成され高低差があるため、拡幅する余地がない。しかし、地区内は、多くの市営住宅や県営住宅、また、大規模な公園や企業施設が点在しているため、このような施設の整備に合わせて地域に貢献する基盤施設の整備が進められてきた。

#### 課題

本地域は、商、工、住が混在した密集市街地で、鉄道・河川等により地域分断され、木造家屋が密集し、道路が狭く、車両や歩行者の安全な通行に支障を来しており、土地利用や機能集積が遅れ、一体的な街づくりが進んでいない。公共施設等の文化やコミュニティ施設の利用促進、新たな業務、商業施設の立地、活気ある商店街づくりなどに弊害となっている。

地域の高齢化が進んでいるため、高齢者が住みやすい地域ぐるみの高齢者対策が必要となっている。特に、高齢者のためのバリアフリー化の実現は重要である。また、地域活動を活性化させるために、世代間バランスの取れた住環境を提供することも必要となっている。このため、更新時期のきた、大規模施設や公的施設の建設時期に合わせ、地域に貢献する施設づくりを誘導していくことが求められる。

さらに、地区内には、区役所や消防署、土木事務所など災害時に最も重要な拠点となる施設や、地域防災拠点、物資集配拠点などの防災関連施設が集中しており、市民が安全で安心に暮らせる街づくりを進めるためには、これらの施設のうち耐震対策が必要な施設の耐震補強工事を実施する必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

相模鉄道線天王町～星川駅の連続立体交差化により、渋滞緩和や地域の一体化を図るとともに、道路や駅前広場の整備、駅や歩行者空間のバリアフリー化をすすめるなど、交通環境を体系的に整える。

斜面緑地の保全、帷子川・今井川におけるブルムナード整備、旧東海道の歴史の道としての整備、親水拠点や文化施設のネットワーク化などをすすめ、区心部の魅力を高める。

また、活気ある商店街づくり、文化やコミュニティ施設の活発な利用を促進するなど、生活に便利でにぎわいのあるまちをつくる。保土ヶ谷小学校跡地や未利用の公有地は、区心部のまちづくりに生かす形で活用する。

工場跡地や密集住宅地での市街地の更新を適切に誘導し、機能的にも景観的にも優れた良好なまちなみをつくる。

中高層集合住宅が混じる丘陵部の住宅地の狭隘道路の拡幅促進し、安全で緑の多い住環境を保全する。

災害への備えも整えた安全に暮らせる街づくりを進める。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
バリアフリーの関心度	割合	高齢化に対応するために必要なバリアフリーへの関心度	バリアフリーの関心度を向上させることにより、バリアフリーの街づくりを推進する。	1	H16	2割増	H20
駅利用者数の増加	人/日	1日あたり駅乗降客数(天王町、星川、保土ヶ谷駅の合計)	駅利用者数が増加するということは、歩行者系のサービスが促進され、にぎわいのあるまちづくりがされたことを意味する。	116,700	H15	122,500	H20
区民祭り等のイベント開催数	回/年	イベントの開催等により、地域住民の交流拠点として利用された回数。	地域の交流拠点として公園利用が図られることは、にぎわいのある街づくりに対する一つの指標となる。	—	—	2回/年	H20
地域防災関連施設の耐震化率	%	地域防災計画において、災害時施設利用計画に位置づけられた施設の耐震化及び建物の適正な保全状態が確保されている比率	公共施設の耐震化と建物の適正な保全状態を向上させることにより、災害時に避難施設や物資集配拠点などの使用が可能となるため、災害に強い街づくりを進めることとなる。	61	H18	80	H20

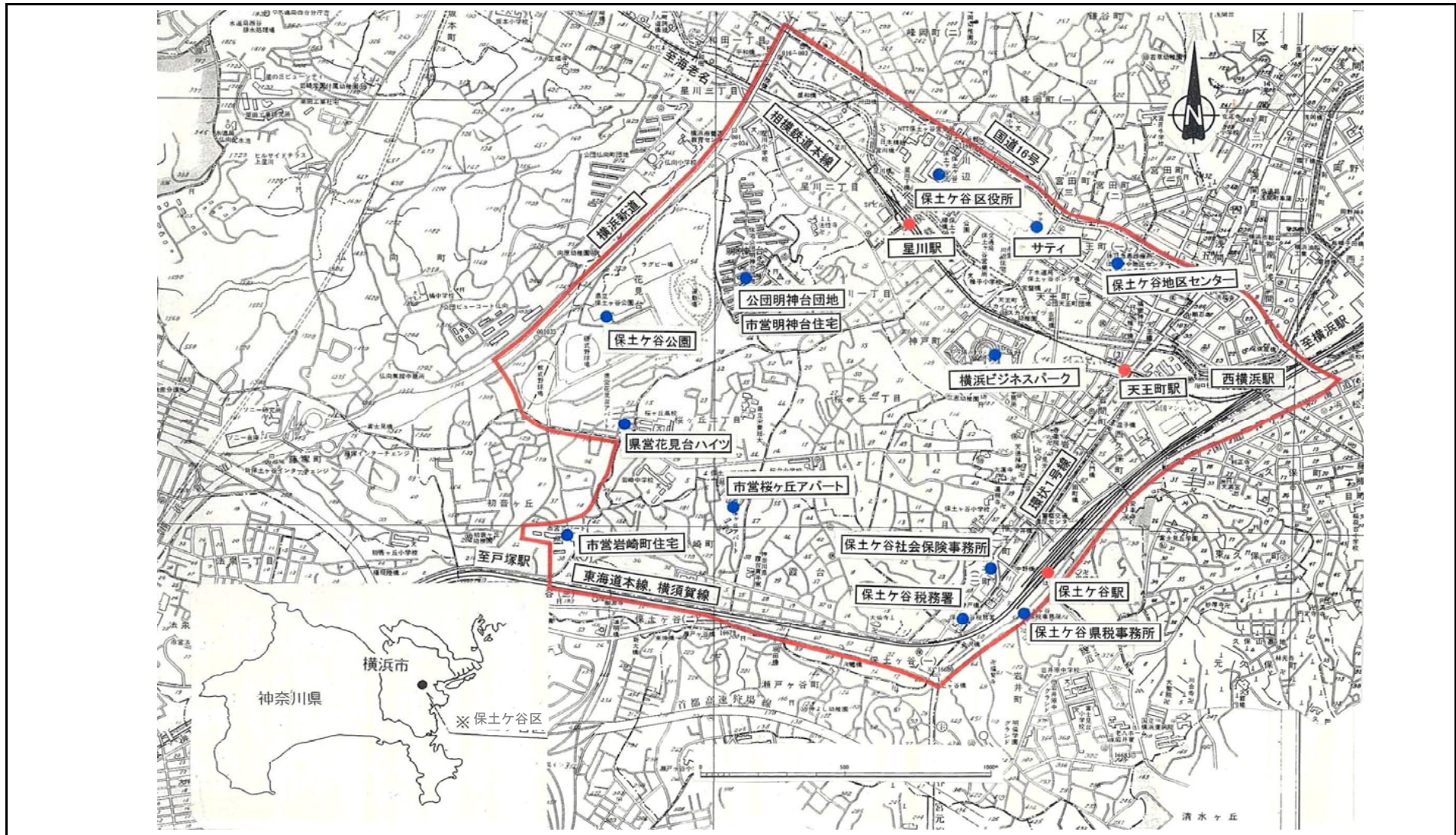
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>交通結節点事業による交通広場へのアクセス機能を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道鶴ヶ峰天王町線整備</li> <li>新設道路整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区内幹線道路の機能を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市道鶴ヶ峰天王町線(宮川橋)架替</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>だれもが安全で快適に移動できる歩行空間を形成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保土ヶ谷区心部快適道づくり事業(地域創造支援事業)</li> <li>市営桜ヶ丘アパート建替え事業(公営住宅整備事業)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>だれもが快適に生活できるバリアフリー化した市営住宅を整備するとともに、周辺住民も利用できる集会所や広場を整備する。</li> <li>住宅地内の歩行者空間を周辺地域のネットワークの一環として整備し、周辺地域の基盤施設の不備を補完する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市営桜ヶ丘アパート建替え事業(公営住宅整備事業)</li> <li>市営桜ヶ丘アパート広場整備事業(地域生活基盤施設)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>公園緑地の整備により都市環境を改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>帷子川流域・東部地区緑地整備</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災計画において災害時利用計画に位置づけられている施設の耐震化及び建物の適正な保全状態を確保するための工事を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜丘高校 耐震対策事業(地域創造支援事業)</li> <li>保土ヶ谷公会堂・図書館 耐震対策その他事業(地域創造支援事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

<p>星川・天王町・保土ヶ谷駅周辺地区(神奈川県横浜市)</p>	<p>面積 366 ha</p>	<p>区域 岩間町、帷子町、川辺町、神戸町、天王町、星川一、二丁目、桜ヶ丘一、二丁目、明神台、花見台、霞台、岩崎町、月見台の全部と西久保町、星川三丁目、保土ヶ谷町の一部</p>
----------------------------------	------------------	--



# 星川・天王町・保土ヶ谷駅周辺地区(神奈川県横浜市) 整備方針概要図

せいびほうしんがいようず

**目標**  
 鉄道の高架化やバリアフリー化によって、人にやさしい街づくりを進めることにより、人であふれ、にぎわいのある住商のバランスの取れた魅力ある地域拠点づくりを進める。

代表的な指標	15年度	20年度
バリアフリーの関心度 (割合)	1	2割増
駅利用者数の増加 (人/日)	116,700	122,500
区民祭り等のイベント開催数 (回/年)	—	2回/年
地域防災関連施設の耐震化率 (%)	61	80

